

／ 発見！ ／

おごおり遺産

No.42

見えないモノと 史跡めぐり

市内には数多くの歴史や文化がありますが、それらは知ることによって初めて見えてくることもあります。

日課で歩く田んぼ道、お店へ向かう大通り、家から見える遠くの木立、通勤や送迎などで通るふしぎな抜け道……。そこに何があるか、何があったのか、目を向けてみたことはありますか？

普段は気に留めず、ただ通り過ぎていくだけかもしれません。しかし、目を向けてみると、そこには小さな祠や大きな碑、厳かにたたずむ寺社や歳月を感じさせる老木、はたまた目には見えない遺跡や伝承など、いたるところにさまざまな



モノが存在します。小郡市では、「史跡案内ボランティア友の会」がそれらに目を向け、学び、そして紹介・案内しています。

友の会は現在11名が在籍しています。毎月第1・3土曜日に集まり、埋蔵文化財調査センターで市内の史跡や文化遺産などを学び、その成果として年に4回ほど史跡めぐりを実施しています。今年で創立21年を迎え、メンバーの平均年齢は上がり、在籍者数も減少傾向にありますが、「地元の歴史を学びたい」「いろいろな人を案内して地元を紹介したい」「ボランティア活動を行いたい」など、さまざまな理由で集まったメンバーが活動を続けています。令和7年度はすでに3つの史跡めぐりと5団体の対応で300人以上を案内しました。

どの案内も好評を得ており、リピーターになる人も数多くいます。

一人で歩いていても、舗装された道しか見えないかもしれません。しかし、一緒に歩いて道の周りにある歴史や文化の話を聞くと、見えなかったモノが見えるようになります。そして、見えるとそれに親しみを覚え、やがて地域の歴史・文化を守る意識や行動につながっていきます。



史跡を案内する様子

ぜひ一度、史跡案内ボランティアが案内する史跡めぐりに参加してみてください。

史跡めぐり

「へんろ道」小郡の四国霊場」ハイキング

近世以降、八十八ヶ所の霊場を巡る形に整えられたとされる四国のお遍路。当時は誰でも巡礼できたわけではなく、さまざまな事情で現地へ行けない人がいました。そんな中、お遍路を模倣した「地方霊場」が全国各地に形成され、それまで遠方で行けなかった人も、身近なところで霊場を巡ることができるようになりました。その「地方霊場」が小郡にもあります。

小郡のどこを・どのように巡ったのか、誰が・何のために巡ったのか。史跡案内ボランティアの話聞きながら、一緒に歩いてみませんか。

日時 11月15日(土)

9時半出発 12時10分ごろ解散

行程 端間駅前(集合)↓内畑辻堂↓禅福寺↓福

童神社↓日吉神社↓西鉄小郡駅前(解散)

参加費 無料

定員 25人

申込方法 電話・メール・申込フォーム

申込 埋蔵文化財調査センター

☎ 75・7555

✉ bunzai@city.ogori.lg.jp

